



職場分会長会議。三池ではこうして時折り分会長が集まり、執行委員と膝つき合わせながら闘いの経験を交流し、総括する。何といても、職場の労働者が一つにならなければ……



発行所 三池炭鉱労組 大牟田市不知火町2 電話 3033番 3034番 編集兼発行人 山下開 半年間1,200円 送料共

炭労大会、闘う方針確立

低賃金支配の打破へ

春闘諸要求、早くも提出

炭労第八十五回臨時大会は三月八・九日東京・国労会館で開かれ、討論の結果「日本石炭公団の設立」などをめざす政策提言と、石炭政策春闘方針を確立した。なかでも賃金引上げなどの春闘要求は、すでに十日石炭各社に提出、まず集会交渉権の確立を求めて行動にはいった。

各裁判の公判日程

災害責任を追及する三つの裁判の公判日程は、次の通りです。組員、家族皆さんの積極的な参加を願います。
●大災害裁判 三月二十四日午後一時。村上証人(会社側)に對する、原告(組合側)代理人弁護士による主張。
●九・二八坑内火災裁判 五月二十四日午後一時。吉田証人(病院院長、原告(組合側))に對する、原告(組合側)代理人弁護士による主張。
●上村裁判 五月二十四日午前十一時。原告の上村千代さんに對する本人調べ。

炭労の臨時大会は政策提言と春闘方針を確立したが、早くも炭労は大会決定にもつき政策春闘を推進するため、全支部に對して次の指令をだし、春闘体制固めに乗りだした。
●春闘要求書は、三月十日石炭資本各社に一斉に提出した。
●あくまで闘いを統一してすすめるために、四社集合交渉権の確立。四社とは三井、三菱、住友、太平洋四資本のことで、四社交渉の可否を三月十八日までに回答すること。もし資本側が応じなかった場合は、月末を目指しスト権をかけた闘いをかける。
●要求にもとづく本格的交渉は、四月七日から開始する。
●北炭労連は到達闘争資本と位置づけながら闘う。
●ストライキで闘うことはもろもろだが、具体的には四月七日の拡大中央闘争委員会を定める。
●右にそいながら、各支部は万全の体制づくりにはいる。

一日も早く改善を 福利要求、今後交渉を

三池労組は労働協約や福利・厚生上の改善要求の表現をめざしなから、二月二十四日か開きも、見込み以上の資金が要する。
●三池労組は、要求を拒否する理由として「不況で、失業者も百万人を超えている。お得先の鉄鋼など操業は七〇%で、原料炭の買入れを控え、炭価アップの見込みはない。従って時給が、有明鉱の二十四日か開きも、見込み以上の資金が要する。」と主張している。
●三池労組が会社側は赤字、筋量の減額補償もある「これに對して三池労組として次にだした要求は」として、
●北炭労連の特別・砂川西鉱は赤字、筋量の減額補償もある「これに對して三池労組として次にだした要求は」として、
●三池労組が会社側は赤字、筋量の減額補償もある「これに對して三池労組として次にだした要求は」として、
●三池労組が会社側は赤字、筋量の減額補償もある「これに對して三池労組として次にだした要求は」として、
●三池労組が会社側は赤字、筋量の減額補償もある「これに對して三池労組として次にだした要求は」として、

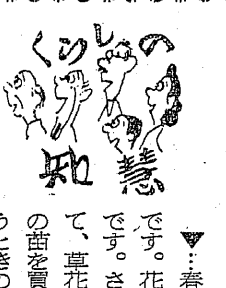
光栄の優勝に輝く Bチーム

荒尾地評の春闘駅伝で

荒尾地評の七八春闘勝利駅伝大会は三月五日行われ、三池労組がA・Bの二チームが参加敢闘した結果、Bチームが見ごと優勝。
「さすがに三池だな」と市民運動公園でテープを切る全長二・五キロ、十一区間にわたる駅伝は荒尾市役所前を午前十時一スタート、市内を回り走った後一チーム、十一人の選手で編成

まになったが、なかでも切実な要求に次のようなものがある。
●高温職場の改善。全坑内温度を二十八度以下にせよ。
●坑内に便所を設けよ。(どこかの職場に便所のないところがある。本紙五面の記事「囚人の奇病」参照のこと)
●各坑とも、駐車場を完備せよ。
●保安靴・作業着は、年一回無条件に支給せよ。
●通勤手当は金額負担せよ。
●勤務時間内の死亡は、すべて公傷扱いとせよ。
●全社宅を対象に、一戸建を新築せよ。同時に、社宅の近代化をはかれば。
●保養所を改築せよ。
●くに、海務所の月給制を見直せ。

改善を待って いる福利厚生
労働条件や福利厚生上の改善を要する。三池労組が会社側は赤字、筋量の減額補償もある「これに對して三池労組として次にだした要求は」として、
●三池労組が会社側は赤字、筋量の減額補償もある「これに對して三池労組として次にだした要求は」として、
●三池労組が会社側は赤字、筋量の減額補償もある「これに對して三池労組として次にだした要求は」として、



はち植えの 買い方は?
苗はがっちりしたものを選び、出直前にはちに植えかえたものは、細根が切れている場合が多いので、三・四日で弱ること出してくれませう。
この欄への相談やご希望を承ります。
(38歳) 前田 忠(47歳)、中村義雄(50歳)、白木光雄(36歳)、佐藤徳志(41歳)、松本剛泰(42歳)、上島茂次(54歳) 心から拍手を贈ろう。

荒尾地評の七八春闘勝利駅伝大会は三月五日行われ、三池労組がA・Bの二チームが参加敢闘した結果、Bチームが見ごと優勝。
「さすがに三池だな」と市民運動公園でテープを切る全長二・五キロ、十一区間にわたる駅伝は荒尾市役所前を午前十時一スタート、市内を回り走った後一チーム、十一人の選手で編成